

集計結果

実施日 令和6年11月6日(月)~12月6日(火)【2月15日現在】
【回収数/配布数:7/11 回収率63.6%】

「A」:当てはまる(そう思う) 「B」:少し当てはまる(少しそう思う)
「C」:あまり当てはまらない(あまり思わない) 「D」:全く当てはまらない
「無」:無回答

評価目標	評価項目	A	B	C	D	無
ア 学習指導	学校は、児童・生徒一人一人に応じてICTを効果的に活用して、「楽しく分かりやすい授業」を行っている。	29%	57%	14%	0%	0%
	学校は、児童・生徒が主体的に学習に取り組み、学びを深めることができるように、授業を改善している。	14%	57%	14%	0%	14%
	学校は、地域人材を積極的に活用し、児童・生徒が青ヶ島の歴史・自然・伝統文化を理解するための特色ある教育活動を推進している。	100%	0%	0%	0%	0%
	学校は、ALT(外国人指導助手)を招聘したり、国際交流プログラムを実施したりするなど、外国語教育や国際理解教育を推進している。	29%	43%	14%	0%	14%
	学校は、児童・生徒が情報の真偽を判断したり、情報を適切に活用したりすることができるように、情報教育を推進している。	0%	43%	29%	0%	29%
イ 生活指導・進路指導	学校は、児童・生徒一人一人の特性を理解し、心に寄り添う指導を行っている。	14%	71%	14%	0%	0%
	学校は、いじめ防止や体罰防止に取り組み、児童・生徒の人権を大切にしている。	14%	71%	0%	0%	14%
ウ 特別活動・その他	学校は、児童・生徒一人一人が、進んで取り組み、責任をもってやり遂げる教育活動を行っている。	43%	43%	0%	0%	14%
	学校は、島内外の現状に即した職場訪問や体験学習を推進している。	57%	43%	0%	0%	0%
	学校は、児童・生徒が日常的に運動やスポーツに積極的に取り組むことができるように、体力向上の取組を推進している。	29%	57%	0%	0%	14%
	学校は、児童・生徒が食に関する知識や望ましい食習慣、生活習慣を身に付けることができるように健康教育を推進している。	29%	57%	0%	0%	14%
エ 学校運営	学校は、※コミュニティ・スクールを通して「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進している。	43%	43%	14%	0%	0%
	学校は、村の実情を踏まえた※持続発展教育(ESD)を推進している。	14%	57%	14%	0%	14%
	学校は、児童・生徒一人一人を大切にするとともに、保護者や地域と一体となって教育活動を行っている。	17%	83%	0%	0%	0%
オ 校内環境	学校は、児童・生徒にとって安全性を徹底するとともに、充実した学習環境・校内環境を整備している。	14%	71%	0%	0%	14%
	学校は、児童・生徒が、タブレット端末を効果的に活用することができるような基盤整備を着実に推進している。	71%	14%	14%	0%	0%

※網掛け黒字:「当てはまる」「少し当てはまる」の回答の割合が80%を超えた項目

※網掛け(濃い)白字:「あまり当てはまらない」「全く当てはまらない」「無回答・分からない」の回答の割合が40%を超えた項目

小学校教育目標

『自立』

- よく考え やりとける子
- 思いやりがあり 助け合う子
- 明るく たくましい子



AOGASHIMA 学校だより

令和5・6年度東京都教育委員会人権尊重教育推進校

令和6年度 臨時号 令和7年2月15日

青ヶ島小中学校HP <https://aogashima.ed.jp>

中学校教育目標

『自立』

- 自ら考え、工夫し 進んで学びつづける生徒
- 心豊かで、互いに 尊重し合える生徒
- 心身ともに健康で、 たくましく生きる生徒

令和6年度「学校の教育活動に関するアンケート」集計結果について

校長 鉢呂 哲也

日頃から本校の教育活動にご理解、ご支援いただきましてありがとうございます。また、「学校の教育活動に関するアンケート」では、地域・保護者の皆様からのご回答をいただきありがとうございました。

学校の教育活動に関するアンケート結果については、全16項目中、「当てはまる」「少し当てはまる」と肯定的に回答いただいた割合が80%を超えた項目が12項目ありました。全16項目の集計結果の中で、課題を整理して考察及び補足説明をさせていただきます。

さらに、今回いただきました結果を今後の教育活動へ生かしてまいります。来年度も本校の教育活動にご理解とご支援賜りますよう、お願い申し上げます。



学校ホームページ二次元コード

1 青ヶ島小中学校の教育活動の概要

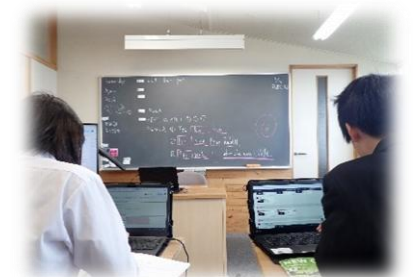
(1) 学習指導「楽しく分かりやすい授業」



かんも・里芋・稲の栽培等、地域人材・資源を活用した学びの充実



学びへの好奇心、探求心を高める個別最適な学びの充実



タブレット端末を効果的に活用した学習の充実

(2) 生活指導・進路指導「一人一人の特性を理解し心に寄り添う指導の実現」



児童・生徒理解に基づいた寄り添う指導の充実
(写真は小学校 いじめの授業の様子)



人権尊重教育尊重校の実践と心を耕す道徳教育の充実
(写真は小学校特別教科道徳の授業の様子)



9年間を見通した生活指導の充実(写真は中学校生活オリエンテーションの様子)

(3) 特別活動・その他「すすんで取り組み、責任をもってやりとげる活動」



異学年集団の中で合意形成を図りながら行う学級会



小中学生による「くろしお会」が企画した集会活動



集団の中で互いの良さを認め合える活動・地域交流の活動

(4) 学校運営「全教職員の学校運営への参画」



学校運営協議会との連携・協働



全教職員・保護者・地域が参加する運動会の実施



小中学生合同による学習発表会の実施(会場に作品掲示)

2 考察及び補足説明

ア 学習指導

アンケート項目①～⑤ 学習指導全般について

青ヶ島小中学校では、全ての児童・生徒が「楽しい」「分かった」「できた」と実感できる授業づくりを目指し、以下の重点的な取り組みを進めています。

【地域人材・資源を活用した学びの充実】

地域の資源や人材を積極的に活用し、青ヶ島ならではの学びを提供しています。今年度は、「かんも里芋の苗植え」「稲の脱穀体験」「職場体験」などの体験的な学習を実施しました。児童・生徒たちは、自分たちの暮らしや地域に根ざした学びを深めるとともに、自然や文化への理解を深めています。

【学びへの好奇心、探究心を高める個別最適な学び】

授業では、児童・生徒一人一人の「なぜ」「どうして」を大切に、探究心を引き出す場面を意図的に設定するなど、問題解決型の学習や対話を通じて、児童・生徒が主体的に思考し、学びを深められる環境を目指しています。また、小集団や異年齢集団での学びの共有を積極的に取り入れることで、多様な視点から学びを促進し、協働する力を育てています。

【タブレット端末を効果的に活用した学習の充実】

タブレット端末やデジタル教科書を使用し、学びの記録や振り返りを行うことで、個別最適な学びの実現を目指しています。また、デジタルシティズンシップ教育などを通じて、児童・生徒が情報リテラシーを身につけ、情報を正しく判断・活用できる力を育む取り組みも進めています。

次年度も、地域の皆さまと連携し、「楽しく分かりやすい授業」のさらなる発展を目指してまいります。

イ 生活指導・進路指導

アンケート項目⑥ 一人一人の特性を理解し、心に寄り添う指導の実現について

本校では、小中共通の生活指導重点目標である「あいさつ励行」、「正しい言葉遣いの徹底」、「時間の厳守」の実現に向けて、年度当初の生活指導オリエンテーションや毎月の生活指導朝会を設定しております。児童・生徒一人一人が、安心・安全に学校生活を過ごすことができるよう、目標を確認し、意識して取り組むことができるようにしています。

日頃から、全教職員が児童・生徒とのコミュニケーションを大切に、心情に寄り添った児童・生徒指導を心掛けております。今後も、自発的・主体的に成長や発達することができる児童・生徒の育成に向け、一人一人が自分らしさを大切にする学校を目指してまいります。

アンケート項目⑦ いじめ防止や体罰防止の取組について

本校では、不登校やいじめの防止、温かな人間関係づくりに向けて、いじめや学校生活と友達関係に関するアンケート、よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート(hyper-QU)を実施しております。各種アンケート結果から、児童・生徒の抱えている気持ちと教職員の認識に齟齬がないかを見取り、児童・生徒からのSOSを見逃すことがないように努めております。また、面談等を通じた保護者の方との連携に加え、年間を通じてスクールカウンセラーによる面談を実施するなど、専門家との連携も積極的に行っております。

今後も、児童・生徒が安心して学校生活を過ごすことができるよう、スクールカウンセラーや関係諸機関、保護者・地域の皆様との連携を大切にまいります。

ウ 特別活動・その他

アンケート項目⑧ 島内外の現状に即した職場訪問や体験学習の推進について

地域の方や外部講師の方などに協力いただき、様々な職業について学ぶ機会を設けています。小学校では、各教科の学習で、地域人材を活用して、畑仕事や焼酎工場について直接、教えていただき、働くことや働く上で、大切にしていることなどを学ぶことができました。

また、中学校では、地域の方にご協力いただき、職場体験を行っております。生徒が、青ヶ島村で働く方々の様子を見たり、実際に体験したりすることで、働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもつことができるように、支援しています。

今後も、児童・生徒一人一人が、各教科の学習を通して、将来の生き方について考える活動を行ってまいります。

エ 学校運営

アンケート項目⑨ 「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」について

今年度の学校運営協議会は、年4回実施いたしました。運動会や学習発表会後の振り返りや、令和7年度学校経営方針に関する協議など、学校運営協議会の皆様と共に、本校の教育活動の質的向上を目指して、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」に取り組んでおります。

村民参加型の運動会では、競技運営のボランティアを募集し、ご協力いただきました。また、校庭芝生化推進協議会では、地域の方が学校と地域との調整役や協議会委員を担い、青小スールフットサルクラブと連携して、芝刈りボランティアによる校庭芝刈り整備(日曜日晴天時)を実施いたしました。

今後も青ヶ島の特色ある教育活動の充実を図るとともに、地域の皆様と連携・協働することで、教育活動の充実に取り組んでまいります。

アンケート項目⑩ 持続発展教育(ESD)の推進について

令和5・6年度東京都教育委員会人権尊重教育推進校として、人権教育の取組を推進してまいりました。道徳授業地区公開講座では、外部講師の招聘を行い、「聴覚障害者」の方が体験談を語る講演会や交流会を行いました。また、東京都人権施策推進指針等に示されている、人権課題「障害者」「子供」「アイヌの人々」「高齢者」「HIV感染者」などについて授業実践を行いました。3月6日(木)取組の成果を保護者・地域に対して発表する予定です。

次年度は、これまでの取組の成果を生かして、青ヶ島村の持続的に発展していくための諸課題を見だし、総合的な学習の時間を中心に、持続発展教育(ESD)の取組を推進一層推進してまいります。

オ 校内環境

アンケート項目⑪ タブレット端末の効果的な活用について

校内研修(情報テクニック研修)年間10回実施し、教職員の情報操作スキルの向上を図るとともに、タブレット端末を効果的に活用した学習指導の充実に取り組んでいます。インターネット検索やプレゼンテーションソフトの活用など、タブレット端末を活用することが目的とならないように、引き続き、児童・生徒一人一人が学びを深めるために、教職員が効果的な活用方法について、より一層理解を深め、授業を改善してまいります。

引き続き、より一層多くの方々に、本校の教育活動に関する理解を深めていただくことができるように、教育活動の様子を発信してまいります。

今後ともご理解とご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。